

J R 東海労申第 3 2 号
2 0 1 8 年 1 月 2 3 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 柘植 康英 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 小林 光昭

特急ワイドビュー南紀台車ひび割れに関する団体交渉開催の申し入れ

1 月 21 日、紀勢線新宮駅構内で、紀伊勝浦発名古屋行きの特急ワイドビュー南紀 4 号に運行予定だった車両の台車軸箱に、約 10 センチのヒビが入っているのを点検中の運転士が見つけたという事象が発生した。また 22 日には、J R 東海が中部運輸局に、ヒビはおよそ 20 センチにわたっていたと報告したことが報じられた。

発車前に発見されたことで重大な事故に至ることはなかったが、J R 東海労は、車両の脱線や部品落下による事故など大惨事に繋がる恐れがあった事象だと考える。直ちに適切な原因究明と速やかな対策実施が必要である。従って下記の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催すること。

記

1. 発生原因が究明され再発防止策を実施するまで、同型車両による列車運行を見合わせる事。
2. 今回の事象についての全容を時系列で明らかにすること。
3. 会社は、今月 15 日に点検を行い異常は無かったとしているが、どのような点検を行ったのか明らかにすること。
4. 同型車両の仕業検査・交番検査等の周期・基準を見直すこと。また、インシデントと認定された今事象に鑑み、重大インシデントと認定された 34A 台車亀裂に関して、新幹線車両の台車検査周期を現行の 60 万 km から 45 万 km に、交番検査周期を現行の 45 日 6 万 km から 30 日 3 万 km にもどすこと。更に全般検査周期延伸をやめること。

以上